

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価額等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減額として処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

利用可能期間に基づく定額法によっております。

無形固定資産(ソフトウェア)

利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込み額のうち当事業年度の負担すべき額を計上しております。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込み額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算しております。

3. 追記情報

(1) 奨学生拡充のための特定費用準備金

当事業年度においても、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第18条第1項本文に定める将来の特定の活動の実施、即ち今後の奨学生拡充のために特別に支出する費用に充てるため、特定費用準備金(奨学生拡充資産)7,200,000円の積立を行っております。この積立資産は貸借対照表の固定資産の部の特定資産の一項目として「奨学生拡充資産」として計上しております。

又、前事業年度、前々事業年度において奨学生拡充のために積立した特定費用準備金のそれぞれ五分の一、計2,880,000円を奨学生増加に伴う支出の増加に充当するため取崩しております。

従って、次年度以降も引き続き当該特定費用の目的のための活動、並びに支出が見込まれます。

(2) 公益事業支出費用の算出における見積方法の変更

奨学生の増加に伴い、前事業年度より法人の公益目的事業に要する人件費割合の見積を従来の60%から70%に変更しておりますが、他の費目のうち事業費、管理費への直接配賦が困難な共通経費についても、奨学生増加の影響を勘案し、当事業年度より公益目的事業費割合を60%から70%に変更しております。

この変更により公益目的事業に計上した費目の合計は前事業年度の見積方法に比べて255千円増加しております。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	6,303,000,000	0	942,000,000	5,361,000,000
定期預金	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
小 計	6,403,000,000	100,000,000	1,042,000,000	5,461,000,000
特定資産				
奨学金積立預金	102,000,000	102,000,000	102,000,000	102,000,000
退職給付引当資産	1,102,100	1,374,120	1,102,100	1,374,120
奨学生拡充資産	12,960,000	17,280,000	12,960,000	17,280,000
記念式典積立資産	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000
小 計	121,062,100	125,654,120	121,062,100	125,654,120
合 計	6,524,062,100	225,654,120	1,163,062,100	5,586,654,120

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	5,361,000,000	5,361,000,000	-	-
定期預金	100,000,000	100,000,000	-	-
小 計	5,461,000,000	5,461,000,000	-	-
特定資産				
奨学金積立預金	102,000,000	-	102,000,000	-
退職給付引当資産	1,374,120	-	1,374,120	1,374,120
奨学生拡充資産	17,280,000	-	17,280,000	-
記念式典積立資産	5,000,000	-	5,000,000	-
小 計	125,654,120	-	125,654,120	1,374,120
合 計	5,586,654,120	5,461,000,000	125,654,120	1,374,120

6. 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	336,000	273,000	63,000
ソ フ ト ウ ェ ア	189,000	122,850	66,150
リ ー ス 資 産	604,485	604,485	0
合 計	1,129,485	1,000,335	129,150

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務等はありません。

9. 関連当事者との取引

関連当事者との取引はありません。